

通信小海

倉庫にお米がありませんか？ おなかをすかせた人たちがいます。

牧師 水草修治

先日、藤田寛さんという、山谷(さんや)労働者福祉会館で働いているクリスチャンがたずねてきてくださいました。延々と続く不況のなかで失業し、おなかをすかせている人々に炊き出しの奉仕をしているということでした。

山谷というのは東京の明治通りの泪橋交差点を中心に、台東区・荒川区にまたがって

【今月のキーワード】

「善意の人は祝福を受ける。自分のパンを寄るべのない者に与えるから。」箴言二十二九

日本同盟基督教団 松原湖高原教会 牧師水草修治

牧師館 長野県南佐久郡小海町大字豊里一十六 一

〒三八四一一三 二六七九二四七七六

郵便振替 五三 六一六八三

広がる簡易宿泊所があつまっている地域、いわゆるドヤ街です。パブルの頃は土木・建設作業が急増して人手不足でしたが、九十一年パブルがはじけて以降、労働需要が激減し、

黄色い十字架 パロの五十メートル北、ヤナシヨウの向かい

山谷は今日明日食べるに事欠く人々、ドヤにも宿泊できず路上で暮らす人々があふれ、面積一・六五平方キロの地域に三万七千人ほども人が住んでいるそうです。また、労働者の高齢化が進んで六十歳以上の人が四・四パーセントに達しているからいよいよ就労がむずかしい。

集会あんない

日曜日

朝礼拝 午前十時から十一時

夕礼拝 午後八時から九時

水曜日

祈り会 午後七時半

行政はなにをしている！とか、国レベルでは経済の立て直しが急務である！とか、議論はいろいろあるでしょう。でも、とりあえずご飯を食べさせてあげたいと、奉仕をしている団体、教会があります。労働者福祉会館もそのひとつ。ここでは毎週一回炊き出しをしていて、一回にだいたい三百食から四百食が提供されています。けれど、おなかをすかせ

*個人聖書研究をご希望に応じて

*海尻で家庭集会をしています。

*初めての方も歓迎します。

*個人的相談にも乗ります。

た人々の数に対して、お米がまったくたりません。空腹な人を手ぶらで帰さねばならなくなってきました。

そこでお願いがあります。あなたの家の倉庫にお米は残っていませんか。古いお米で結構ですから、寄付していただきたいのです。佐久地域では、川上村秋山のおばあちゃん先生川上よしさんの家の倉庫にとりあえずお米を集めて、これを藤田さんが山谷に運ぶということになっています。

直接、ご自分で川上よしさんの倉庫に運んでいただける方は、そのようにお願いします。川上よしさんにあらかじめお電話をくださいますように。耳が遠いので大きな声で話してください。もし、お米を運べない場合は、藤田さんにお電話ください。藤田さんがいただきにうかがいます。よろしくお願いします。

「善意の人は祝福を受ける。自分のパンを寄るべのない者に与えるから。」

箴言二十二九

「寄るべのない者に施しをするのは、主に貸すことだ。主がその善行に報いてくださる。」箴言十九十七

問い合わせ先

川上よしさん 電話九九 二七 五

川上村秋山七九八

藤田寛さん

電話 四二七八六二 八八

東京都台東区日本堤二丁目

二十五番十一号

^川上よしさんの家の地図<

生きる

水野源三

神様の

大きな御手の中で

かたつむりは

かたつむりらしく歩み

蛍草は

蛍草らしく咲き

雨蛙は

雨蛙らしく鳴き

神様の

大きな御手の中で

私は

私らしく

生きる

私には自分のしていることがわかりません

東京高等裁判所の裁判官が児童買春・ポルノ禁止法で逮捕された。取調べで、くだんの法律について知っているのかと問いただされると、「立场上、その法律のことはよくわかっています。たいへん申し訳ないことをしました。」という答え。周囲の人々は曰ごろはおとなしくまじめな人なので驚いているとか、それだけでなくも揺らいでいる司法の信頼がさらに損なわれることになったという報道がされていた。

筆者はこの裁判官をあざけることができなかつた。魂の悲痛な叫びを聞く思いがしたからだ。新約聖書ローマ書の使徒パウロのことはを思い出さないではいられなかつたのである。

「私には、自分のしていることがわかりません。私は自分がしたいと思うことをして

いるのではなく、自分が憎むことを行なっているからです。もし自分のしたくないことをしているとすれば、律法は良いものであることを認めているわけです。ですから、それを行なっているのは、もはや私ではなく私のうちに住みついている罪なのです。私は、私のうち、すなわち、私の肉のうちに善が住んでいないのを私は知っています。私には善をしたいという願いがいつもあるのに、それを実行することがないからです。私は自分でしたいと思う善を行なわないで、かえって、したくない悪を行なっています。もし私が自分でしたくないことをしているのであれば、それを行なっているのは、もはや私ではなく、私のうちに住む罪です。

そういうわけで、私は、善をしたいと願っているのですが、その私に悪が宿っているという原理を見出すのです。すなわち、私は内なる人としては、神の律法を喜んでいるのに、私のからだの中には異なつた律法があつて、それが私の心の律法に対して戦いを挑み私を、からだの中にある罪の律法のとりこにしているのを見出すのです。

私は、ほんとうにまじめな人間です。だれ

がこの死のからだから、私を救い出してくれるのでしょうか。．．．私たちの主イエス・キリストのゆえに、ただ神に感謝します。ですから、この私は、心では神の律法に仕え、肉では罪の律法に仕えているのです。

こういふわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。」

ローマ書七章 八章

「いけないことはよく分かっている。分かっているけど、どうしてもやめられない。」という魂の叫びは、あなたのうちにはないだろうか。好色・悪口・盜癖・過飲酒・ねたみ・怒りと罪の種類はさまざまだろうが、人にはそれぞれみな罪があつて、その誘惑に打ち勝つことが出来ない。きまじめに罪と戦おうとすればするほど、その罪にとらわれてしまふ。あなたを罪の縄目から解放するのは、誰か。それは、ただイエス・キリストをおいてほかにはない。さあキリストのもとにいらつしやい。

子孫に申し訳ない

「あなたは自分のために偶像を造つてはならない。．．．それらを拜んではならない。それらに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神。わたしを憎む者には、父のところが子を報い、三代四代にまで及ぼし、わたしを愛し、わたしの命令を守る者には、恵みを千代にまでほどこすからである。」出エジプト記二十章

「ご先祖さまに申し訳ない。」という人がいる。けれども、実は、すでに世を去った先祖に対して私たちはなにもできない。生きているうちは冷たくあしらつておいて、死んでから院号を贈り、黒御影の墓を建ててもなんの役にも立たない。生きている間に足腰さすつてやるほうがずっと意味がある。孝行をしたときには親はなし。孝行は生きているうちにこそである。

聖書に何十代にもわたる系図が書かれていることからわかるように、造り主なるまことの神は先祖をないがしろにせよと教えるわけでないが、むしろ、私たちが直接的な意味で責任があるのは、むしろ子孫に対してなのだと教える。造り主である神の御前でのあなたの人生の選択が、子孫三代四代の呪いか、あるいは千代にわたる呪いかを決めることになる。だからむしろ「子孫に申し訳ない」と考えることが大事なのだ。

では、後世への遺産とはなんだろう。内村鑑三は『後世への最大遺物』で、つぎのように語った。第一に金という遺物である。ジラードという人には子どももなく妻も早く死んでしまった。彼は考えた。「妻もなし、子どももなし、私に人生の目的はない。けれども、世界一の孤児院を建てたい。」彼は一生懸命働いて生涯かけて二百万ドルばかりをためて、すばらしい二つの孤児院を建てた。金を遺物とせんとする人は、金をためる才能だけでは無駄になる。世のため人のために使う心も併せ持たねばならぬ。

金よりすぐれた遺産は事業。身近なところでは、浅科村の五郎兵衛新田の事業がある。

彼が遺した灌漑用水路によって、江戸時代から今日にいたるまでどれほど多くの人々が糧を得、飢えを免れてきたことだろう。

さらにすぐれた遺産は思想である。今から三百年前、英国に体の弱い貧乏な名も知られぬ学者がいた。彼は絶対王政の時代にあつて、個人は国家よりたいせつであるという思想を一冊の本に書いた。やがてこの本は革命をひき起こして、世界は民主主義の幕開けとなった。彼の名はジョン・ロック。

とはいえ金も事業も思想も特異な才能なくして遺せるものではないし、これらは後世の益になるともかぎらない。だが、志さえあれば誰でも遺すことのできる、そして、必ず後世に益となる最大遺物がある。それは、勇ましく高尚な生涯である。今の世がいかにも正に満ち、大多数の人が利己的のみに生きていようと、神がこの世を支配したまうことを信じて神の御旨に従う信仰である。まことの神に立ち返り、それぞれの持ち場立場で、まことの神を畏れ、神のくださった隣人を愛することに自分の人生をかけることである。それは必ず子々孫々への祝福となる。千代にわたる祝福となる。